
麻生リトル・ラグーメン



神奈川県川崎市

麻生ラグビースクール

今年の夏合宿は例年以上に日差しが厳しく暑い日が続いたように感じます。菅平を降りる日、みんなのこんがりとした顔がなによりも印象に残りました。この合宿に参加してくれた子どもたち、サポートしていただいたお父さんお母さん、熱い指導をしてくれたコーチの皆さん、良いグラウンドと宿舎を提供してくれた山光館さん、道中安全運転で移動させてくれた神奈中観光バスの皆さん、ジャンボリーで試合をしてくれた対戦相手のラグビースクールや運営スタッフの方々、麻生ラグビースクールの夏合宿に関わってくださったすべての皆さんに心からの御礼を申し上げます！

今年の夏合宿、私の個人的な思いとしては「熱中症や大きなケガを出すことなく、みんなで楽しく菅平でラグビーをプレーする」ことを念頭に置いていました。これは多分に私の現役時代の菅平に対する思い(厳しい練習や心身ともに追い込まれた長期間の合宿生活…)があつてのことですが(苦笑)。小学生の合宿ですから、まずは楽しくプレーする、そのうえで集団生活を学ぶ、それだけで十分ではないかと思っていました。防げるケガや疲労によるケガよりも、この年代、まずは天然芝で思いっきり転ぶ、走ることが何よりも大切であり、追い込む練習はラグビーが好きになってから自分たちで納得して、その必要性を理解したうえで自ら進んで取り組むべきではないかと考えていました。その思いとケガの発生は直接結びつかないかもしれませんが、今年は熱中症や大きなケガが出なかったことにも感謝しています。

さて、今年度より三浦前校長から校長職のバトンを引き継ぎました。

私自身まだまだ未熟な部分は多々ありますが、コーチの皆さんや父母会に参加いただいた保護者の皆さんには私の考える学校の運営方針を説明させていただきました。

ひと言でお伝えさせていただくと「好きこそものの上手なれ」です。

まずはラグビーが好きになる、麻生ラグビースクールに来たくなる、この視点を大切にしていきます。好きになる要因はさまざま、もちろん個人差はあります。仲間と走り回ることが好き、パスをすることが好き、コンタクトプレーが好き、みんなと練習をすることが好き、試合をすることが好き、試合に勝つことが楽しい、練習を通して今まで出来なかったプレーができるようになることが楽しい等、そこをコーチ陣が汲み取りながらスクール活動を進めて行くことを私は理想としています。子どもたちにはどんな思いがあるのだろう、どうすればラグビーという素晴らしい競技(身体をぶつけ合う競技だけに心を律する必要があります。ラグビー憲章にある5つの言葉をご存知ですか?)に興味を持ち、好きになってくれるだろう、大人の目線ではなく子供たちの目線や思考に寄り添う、先入観を持たずにフェアに向き合う、子供たちとの対話を惜しむことなくお互いに認め合う、ということに言い換えることができるでしょうか。そのためにコーチたちはいろいろとチャレンジしていただいています。これからもどうすればラグビーを好きになるのか、ラグビーに向いてくれるのか、をみんなで模索していきます(いつも同じことを言っております)ので、今後ともグラウンドに足を運んでいただき、その様子を見ていただきたいと思います。

参考 ラグビー憲章にある5つの言葉

品位 (INTEGRITY)

品位とはゲームの構造の核を成すものであり、誠実さとフェアプレーによって生み出される。

情熱 (PASSION)

ラグビーに関わる人々は、ゲームに対する情熱的な熱意を持っている。ラグビーは、興奮を呼び、愛着を誘い、グローバルなラグビーファミリーへの帰属意識を生む。

結束 (SOLIDARITY)

ラグビーは、生涯続く友情、絆、チームワーク、そして、文化的、地理的、政治的、宗教的な相違を超えた忠誠心へとつながる一体的な精神をもたらす。

規律 (DISCIPLINE)

規律とはフィールドの内外においてゲームに不可欠なものであり、競技規則、競技に関する規定、そして、ラグビーのコアバリューを順守することによって表現される。

尊重 (RESPECT)

チームメイト、相手、マッチオフィシャルそしてゲームに参加する人を尊重することは最も重要である。

今年の夏合宿は新体制に交代して初めての夏合宿で、これまでとは違う試みがいくつかありました。

1.山光館到着時と山光館出発時に全員で整列し、山光館のご夫妻に挨拶をした。

→次代を背負う若者づくりの一環として、来年以降も継続する。

2.初日の練習開始時と最終日の練習終了時の全学年揃っての練習メニューを割愛もしくは簡素化し、学年毎の練習時間を確保した。

→従来は下の学年の練習が終わらないと上の学年が練習を止めず、その後のスケジュールが後寄せになることがあったが、全学年とも時間通りに練習を終えた。

3.DISCIPLINE を大切にする夏合宿を目指し、班長賞『班長！はんばないで賞！』を新設。

→名称は別にして、プレーにおいても DISCIPLINE は重要。来年も継続する。

4.夜のミーティング時は、冒頭に夏合宿担当ご父母と翌日の活動を確認する打ち合わせを行ったため、その流れでその後の懇親会も沢山のご父母が参加してくださり盛り上がった。

→盛り上がり過ぎでした。来年は節度を持って大いに盛り上がりましょう。

【2018 サンウルブズドリーム菅平ミニジャンボリー大会対戦結果】

今年からサンウルブズが大会を応援してくれることになり大会名称もカッコ良くなりました。

試合結果は、後掲の試合結果一覧でご確認ください。

今年は2年生もジャンボリーに参加しました。

麻生全体では8勝5敗1分の勝ち越しです。

【菅平賞受賞者と選考理由】

今年の菅平賞は以下の通りです。

受賞者のみんな、おめでとう！

これからもチームメイトのお手本として、みんなを牽引してください。

なお、選考理由はコーチのコメントをそのまま掲載しますので、是非ご一読ください。

◆6年:尾崎丈太郎

『丈太郎は今春から、SHを交代で担当することになりました。

コンバート後は、なかなかゲームに集中することができず、タックルにも手で捕まえに行くことが多かったです。

しかし、目標を「スーパータックルを決める。」として臨んだ夏合宿では、練習でも集中してみんなを引っ張りジャンボリーの大会では目標のタックルにも果敢に挑み相手を倒し続けてくれました。

いままで、どちらかというと自分は自分という丈太郎から、みんなのための丈太郎に変身してくれた点がコーチ一同による菅平賞の決め手となりました』

◆5年: 千秋勇都

『今年5年生は、夏合宿での目標を以下の通り決めました。

防御面:

- ①広がってノミネート。
- ②揃って前進。
- ③低くて確実に相手を倒すタックルの体得。

攻撃面:

- ①ターンオーバーからのアタック。
- ②スペースを見つけてスペースの前に立つ。
- ③あひるサポートからの脱却。

その他:

- ①用具をキチンと揃えて置く癖を付ける。
- ②忘れ物ゼロ。

これらの目標を基にコーチが通信簿を付け、総合的に目標達成度合いが最も高かったはやとを菅平賞に選出しました。

FWの選手としては2年振りの菅平賞受賞です』

◆4年: 吉田悠真

『ゆうま君は恵まれた体格と走力を活かした突破力が魅力でしたが、相手のマークも日増しに激しくなり、従来からのひ弱な当たりでは簡単には抜け切れなくなっていました。

そこで今年の夏合宿では、目の前の相手に対して正面から低く当たり圧倒的な迫力で突破することを目標としていました。

ゆうま君は、実直にこの目標の達成を目指す努力を続けると同時に、率先して入校間もない仲間にポジショニングと動き方を丁寧に教えてチーム力の向上に貢献しました。

その結果、仲間を活かしてチームの攻撃が厚みを増し、自らもより攻撃的にアタックに臨むことによって力強く相手を突破してトライを決めることができました。

そして菅平ジャンボリーの対外試合のみならず、山光館グラウンドでの紅白戦を含め、唯一人全試合にフルタイム出場し、皆の期待に応えてくれました。

このような、ゆうま君の直向きな向上心とチームへの貢献を高く評価し菅平賞を授与しました』

◆3年: 塩川琥太郎

『塩川くんは、練習と試合を通じてアタック場面ではスペースを見つけて前進し、デフェンス場面では相手の攻撃を何度もタックルをしていました。

この様なプレイが他のチームメイトの良いプレイにつながるなど、チームに大きく貢献していました。

塩川くんの積極的なプレイを評価させてもらい菅平賞を決めました。

これからもチームメイトと切磋琢磨して、成長していくことを期待しています』

【班長賞:『班長！はんばないで賞！』】

◆6 班班長:中村和樹

7つの班の中で、生活態度や時間管理面などにおいて最も規律正しい班行動を励行した班のリーダーを表彰しました。

今年新設した賞ですが、規律正しい行動をすることはラグビーのプレーにも繋がることなので来年も継続したいと思います。

但し、賞の名称は想定していたほどウケなかったので再考の必要ありかと…。

以下に夏合宿の各班担当コーチの生のコメントを掲載します。

今年の反省点と来年以降の課題が共有できますので是非ご一読ください。

◆1 班: 渡部コーチ／班長鈴木／副班長佐上

1 班の班長は、少しおとなしいので自ら発信できるようになってほしいとの期待を込めての人選でした。

普段よりも彼なりに頑張ってくれたと思いますが、なかなか班員を引っ張るところまではいきませんでした。なので班長をサポートする副班長とのマッチングや、班員各自の性格などある程度事前に把握しておく必要があるのかなと感じました。

班員の発表ももう一週でも早く行い、彼らだけで合宿をどう過ごすかを話し合う時間を与えるのも一案です。

食事の時間は、食べ方によりかなり差があり、全員が同じ量を食べる前提を変えた方がいいのかなと思いました(出された食べ物を簡単に残すのはいかなものでしょう)。

◆2 班: 牛山コーチ／班長佐藤／副班長毛利

班長は直前に片岡ゆうきが体調不良で不参加となり、6年一人となった佐藤たくみがピンチヒッターしました。食事、部屋の片付け、集合時の統制など、要所での模範やリーダーシップを発揮することは難しかった印象です。

集合時の人数確認や整列指示などはある程度行動出来ていたようですが、集まってから部屋に忘れ物が発覚したり、トイレに行ったり、下級生が何回か集合時刻に間に合わないケースがありました。集合時刻から逆算してメンバーに余裕を持った対応をさせるには、担当コーチとして事前にもっと話しておくべきだったかなと反省しています。

一緒に食事したのは放っておくと食べない子の箸を多少なり進めさせることが出来て、良かったです。

それでも、ご飯とお味噌汁だけは OK の子なんかもいて、カレーとかチャーハンだったらいけるのかなと。毎年のことなんだろうが、難しさを感じました。

◆3 班: 夏川コーチ／班長増田／副班長小本

3 班の状況ですが、班長の代わりに 6 年キャプテンが頑張っていた印象があります。

班長が自主練に行ってしまう、それをキャプテンにもメンバーにも何も言わずに行ってしまったり、副班長も責任感がない状態であったりと、致し方ないところもありますが、キャプテンがいることで班長が少し責任感が薄れてしまったのかなと思います。

少々気抜けしていた感がありました。

キャプテン=班長のほうが班行動としては締まりがでますが、今回の意図とは違うのでその意識付けをもう少しできていればなと思いました。

逆に 3 年生や 4 年生がしっかりしていて 5 年もっとしっかりしろよと思うシーンもあり、総じて事前に顔合わせをしておくべきだったと反省しております。(行事と重なっていたところもあり、十分にできていなかったなど) 食事に関しては少々気になることが。班員の一人が「魚アレルギー」と主張し、食事に出ていた魚を一切口にしませんでした。本当にアレルギーだったのか、学年コーチに確認するタイミングも作れず、そ

のため無理に食べさせませんでしたが、事前にそれらの情報をいただくことは可能なのでしょうか。それ以外としては食べるボリュームの違いはあれど、みなきれいに食べていましたので、同席していたかいはあったかと思えます。

◆4班: 武井コーチ／班長尾崎／副班長杉浦

四班の状況ですが 班長及び6年に班をまとめなければならぬという自覚が足らず、かえって他の学年が補っていたようです

食事は担当コーチが同席することで抑止力となり良かったと思えます

◆5班: 野田コーチ／班長倉谷／副班長金田晃

集合時の人数確認では、班長に全員揃っているか聞くと、人数を数えて「揃っている」と返事がありますが、「じゃあ何人いるの」と聞くと毎回わからないと言った状況でした。(実際に「全員いる」とのことで食堂に向かって歩き出したら、下級生から「〇〇君がいない」といった声が上がったこともありました。)班長よりも他の6年生がしっかりと人数確認をしていました。以前のように、6年生は遅くまで練習をするスケジュールではなかったため、6年生が班と別行動をする機会があまりなく、副班長の5年生が班長がいないときの代理として仕事をする機会がほとんどなかったため、最初から役割を与えていた方が良いのかも知れません。毎日部屋を訪れましたが、「空き時間に部屋を整頓するように」と指示していたにも関わらず、最後まで荷物が散乱しており、最終日に荷物を出した後も、忘れ物がいくつも残っていました(荷物整理が出来ないために、班長の腕時計が毎日紛失するという有様でした)。上級生におとなしい子が多かったせいか、移動の際は下級生がどんどん先に進んで行く、食事の際はあまり会話もなく、だらだらと食べている感じでした。一方で、かなり腕白な下級生が班行動中に問題を起こさなかったのは、優しい上級生が揃っていたからかもしれません。

◆6班: 倉谷コーチ／班長中村／副班長金田剛

6班は、「班長！はんばないで賞！」を獲得したこともあり、よくまとまっていたと思えます。特に時間厳守に関しては、意識して守っていたように思えます。また、6年生が一人という事もあり、さらに意識して頑張っていた感じです。あえて言うなら、食事です。食事には、食べる量もスピードも好き嫌いもあり、どこまで、がんばって食べさせるべきか？私もそうでしたが、班長もどこまでいべきか？考えていたようです。私が無理に食べさせることを、あまり行わなかったため結果的に残りも結構出ましたが、それが良かったのか？悪かったのか？なかなか判断が難しい、と思いました。ある一定の方向性を出すことは、個人差が多い部分ですので難しいですが、どうしても食べきれなくて、しょうがなく残してもいいが嫌いなものは、一口だけでも食べよう！など、何か目標設定をするだけでも、合宿での食事が意味のあるものになると思えました。また、全体感を通じてですが、今回の6年生の班長は、既に統率力がある6年生よりも、「これから班長の経験をさせて伸ばしていこう」という主旨が感じられる人選だと思いました。班長に指名された子供には、「スクールとしての班長のあるべき姿及び期待するところ」を事前に、6年コーチからだけではなく、スクールとして明確に理解してもらう事を行えば、もっと責任を持った行動を取れるのではないかと思います。担当コーチにも事前に「これから伸ばしていこうという主旨での班長人選」という事を周知し、その個人のパーソナリティーを事前に周知することで、良いアドバイスができて成長の手助けになると思います。(時間的に難しい部分もあると思いますが)さらに物理的に難しいと思えますが、統率力のある子供に任せ、円滑な合宿の進行を行う為だけの班長であれば、担当コーチは、どの学年でも良いと思えますが、班長をして成長させる主旨が強い場合には、ある程度、その子供のパーソナリティーを理解したコーチの方が、的確なアドバイスができ、より成長し意味のある班長になると感じました。

◆7班: 小作コーチ／班長坂脇／副班長黒須

集合について

遅れる事はなく、私が確認する前に人数を班長が把握していました。よくできていたと思えます。

移動について

班長先頭、副班長が最後尾として指示をしました。土曜日の午後練習時(上級生の無断移動が多かった時)には下級生に班長代理を依頼して自主練習に行っていました。

食事について

男子生徒は必要量な量を食べてたと思います。

3年生女子は食欲がないわけではありませんが極めて少なく、心配をしました。体格と食事の量は比例していました。食事のバランスは大切ですが食べない事には体調不良の一番の原因になりますので、選べるのであれば丼物やカレー、シチュー等々シンプルでお腹に入れやすいものが良いように思いました。(最終日の牛丼を観ても…)箸が進まない子供に繰り返し声を声掛けしてもその効果は一口、二口くらいです。家では好きなものしか親は出さないと云ってる子供に食べさせる事は難しい。無理に食べさせれば反って体調を悪くするように思います。

その他

枕投げで各部屋を回ったと報告を貰いました。

埃アレルギーの子供が同じ班に居ながら、事前にその旨の話を聞きながらの行動でしたので残念なことです。

帰りのバスのお菓子について

自分は落としていないから拾わない。落としているかもしれない自分じゃないと言い張る子供が何人か居ました。「落ちているゴミを拾うことに協力してくれないか？」と声掛けすると残念なことに納得した顔ではありませんでした。

【最後に…】

今年の夏合宿もご父母の皆さまには大変お世話になりました。

特に、夏合宿担当の5年生ご父母の皆さまは、事前準備の段階から本当にありがとうございました。

新体制として初めての夏合宿を無事に終えることが出来たのも、ご父母の皆さまのご支援の賜物と感謝しております。

これから3年生以上は県大会に向けて、ミルキー学年も交流試合等に向けて、張り切って練習に取り組んで参りますので、引き続きのご支援をよろしくお願い致します。

技術より大切なもの

技術指導 笹崎 順平

私の担当の四年生の試合で、最後の数分まで0対0が続く、精神的にも非常に追い詰められる緊迫した試合がありました。この試合では両チーム、どのプレーヤーも、決して後ろ向きな姿勢をみせず、それが互いを刺激し合い、チームの信頼感を生み、厳しい状況を何度も乗り越える大きな力になったと感じています。もちろん個々の技術力は必要ですが、まだ成長過程にある子どもたちの心を互いが支え合う、そうしたコミュニケーションが、子どもたちの間に生まれていたことに、私は大きな期待を感じました。お互いを支え、助け合い高め合う、そうしたコミュニケーションラグビーが根付くことを期待しています。

神奈川 DAGS



菅平高原 ホテル亀屋 グラウンド#87

夏合宿

中学3年 海老原 銀次

今回の夏合宿では怪我をしていて試合も練習もできてなかったがみんなが良いプレーをできるようにサポートすることができました。プレーをしない選手のサポートの大切さもわかることができました。早く怪我を治し秋の大会では優勝を目指しベストな状態で試合に臨みたいです。

菅平合宿 2018

中学3年 森 天

今回の合宿では、チームとして、出来るようになったことが見られた一方で、課題も見つかりました。出来るようになったことは、合宿前から取り組んでいたディフェンスです。特にバックスは、2年生も前に詰めることが出来ていました。しかし、良くなってきているものの、まだフォワードが前に出られなかったり、フェーズを重ねると、タックルミスが起こってしまいます。あと、全体的に、疲れてくると前に出られなかったり、外で余らされることがあるので、秋までにそこを修正して、大会に臨みたいと思います。



夏合宿を終えて

中学2年 石野 創太郎

今年は2年目で、合宿についてわからないことはなかったもので、宿舎では余裕を持って行動することができた。休憩時間には睡眠をとったりマッサージをしたりして、次の練習に備えたケアをすることができた。

試合では、ウイングで出ることが多く、コーチから言われていた「早く前に出てディフェンスをする」ということに近付けたと思う。

その理由として、以前に比べてよく声が出せるようになったと感じている。

2年生試合では、少しキッカーをやったが、キックオフはもう少し高さを出せるようにしたい。プレースキックは状況や場所に応じてキックを変えようと思う。

夏合宿で練習したことを秋季大会に生かし、勝利に貢献したい。

菅平合宿について

中学2年 森下 響介

僕はこの合宿で前に出て低いタックルをするという目標を出しました。

前に出て低いタックルをすることを意識して練習や試合をしたので自分より大きい相手でも、前に出て低いタックルができるようになってきた。

秋の県大会に向け、チーム内でもっと貢献できるように頑張ります。

2018年夏合宿の反省点と今後の目標

中学2年 古川 達也

今年の夏合宿では、試合が多く、その中で自分に足りない点が多く見つかりました。

- 1 つ目は、パスです。特に右に投げるパスは、止まって投げてしまったり、良い所に投げられなかったり、しているので、特に右のパスを練習していきます。
- 2 つ目は、タックルです。タックルは低く行くことが出来ず、ハントオフをされてしまっていたので、もっと低いタックルを練習し、ハンドオフされずにしっかり相手を止めて行きます。
- 3 つ目は、キャッチングです。ハーフから来たボールを膝まづいて、キャッチしてしまったりしていたので、低いボールも態勢を崩さずにキャッチできるように練習していきます。

夏合宿

中学2年 卯月 快杜

僕が、今年の合宿で得たものは2つあります。

一つ目は、前に出てタックルすることです。一対一のタックル練習で前に出ることを心がけて試合でも何回か前に出てタックルすることができました。ですが前に出てタックルを外されたり、前に出れないこともあったのでその点は、直していきたいと思います。

二つ目は、体力がついたということです。一日中練習や試合をしたことにて体力がついたと思います。

このように今年の合宿は、とても充実した夏合宿でした。合宿での良かった点や改善点を今後の練習で良かったことは伸ばし改善点は良くしていきたいと思います。

夏合宿

中学2年生 夏川 凌一

僕は今合宿で「基本的なプレーを向上させる」を目標とし、合宿に挑みました。

ゲーム内で上手いく事もりましたが、全体的にみると出来ない事の方が多く、目標を達成する事はほとんど出来ませんでした。

また、上手く出来たプレーは、ラッキーパンチに過ぎないので、そのラッキーパンチを自分でやれる様に沢山練習して上手くなりたいと思いました。



DAGS 菅平合宿を終え」

中学1年 佐々木 成己

僕は合宿前に膝を故障してしまい、合宿当日は練習ができない日もありました。練習できない日は外から声を出したり、できるアドバイスで声を掛けたりして、チームをサポートすることをがんばりました。声を出すことはとても大事なことで今まで以上にこれからも声を出していきたいです。プレーでの改善したいことは、流れないことです。練習では意識できていますが、試合になるとパスを受けたらすぐ流れてしまうので、試合でも練習と同じような動きができるように意識していきたいです。

夏合宿

中学1年 小田部 晃太

今回の合宿は、DAGS での初めての合宿でしたが、とても楽しく終われました。今までの合宿とは違い、毎日試合があり、とても強いチームとも戦え、最高でした。全試合勝てたので、嬉しかったです。改めて仲間の大切さを感じました。また、来年も楽しみです。

初めての DAGS 合宿

中学1年生 中野 竜之介

試合は楽しかったけど、試合本数が多くて疲れた。試合のプレーでは、課題のタックルが少しできるようになってきたけど、まだまだスカの方が多いため頑張りたい。アタックは横に走るのではなく、縦に突っ込んで、ボールキープをちゃんとしたい。今回の合宿ではノックオンが多かったので、反省して、無くしていこうと思う。練習に関しては、試合後の練習が辛かった。宿でのミーティングでは、その日の改善点と、それを踏まえての次の日の目標を立てた事で、試合でやるべき事がはっきりしたと思うし、自分の為になったと思う。キツくて大変だったけど、有意義な合宿だった。

夏合宿を終えて

中学1年 明石 遥希

僕の夏合宿での目標は速くオーバーに入る事でした。でも試合となるとオーバーに入るのが遅かったり当たり負けしていました。今回の夏合宿で「体力をつける事」、「当たり負けしない事」、「フォローにしっかりつく事」この三つの課題ができました。今後の練習でこれらの課題を克服できるよう頑張っていきたいです。

夏合宿

中学1年 小中 啄未

中学生になり初めての夏合宿

僕は、ボールを取りに行く事やタックルが怖くてなかなか出来ません。

それを出来るようになりたいという目標で参加しました。

合宿の試合では、ボールを持つことが出来たが、一瞬混乱して動けなくなりました。

しかし、今回の合宿での反省点は、プレーに関しても沢山あるが、反省会での発表の時に、声が小さかったのも直したいです。

目標は、全てを達成する事は出来なかったが、合宿はとても楽しかったです。

とても充実した日を過ごせました。

ありがとうございました。

夏合宿

中学1年 中原 侑温

僕はこの合宿でたくさんの試合を行いました。ベイ東京、世田谷、練馬、高崎と試合をしました。

ベイ東京戦ではラインを広くしてワイドに攻めることができました。しかし、ハーフでラックができたときに相手のFWが内に来て自分が止める役割なのに、止めることができなくて悔しかったです。世田谷戦では一人一人がタックルをして大きい相手や足が早い相手もあたり負けずにプレイができました。順目に攻めることもできて勝つことができました。練馬戦ではヒーローズカップのリベンジができました。ハーフとしてのパスは少しパスミスがあり、改善していこうと思いました。失点は自陣ゴール前でキックをされてスペースを抜かれて失点したのでチームメイトともしっかりコミュニケーションを取りたいと思いました。

高崎戦では合宿最後の試合だったので練習の成果をだすことができました。

練習で教わったことは①順目に攻めること ②ラインを広く、深く作ること ③二人目が早くついてフォローすること ④ピラーをみて内を抜かれないこと ⑤得点を取ったり、取られたりしたときにすぐに集まって話し合うこと ⑥どんな相手にもあたり負けないこと、この六つができて勝つことが出来ました。

これからもこの六つを忘れずにプレイをしていきたいです。



夏合宿

森 天 母(和恵)

森家がラグビーと出会って5年目の夏。

天がDAGS最後の合宿となり、感謝の気持ちをもって全泊でお手伝いする予定でしたが、なんと弟の琉が体調を崩し、途中からとなってしまいました。

今年の夏は今までにないような猛暑となり、さすがの菅平でも熱中症気味の子供が多く、いつもは人気のないOS1をおいしいと言って飲む子が多数いました。

ただ、ケガや体調を崩す子がいながらも、大事には至らず、選手それぞれの目標を、達成できた子が多かったのではないかと思います。

(ディフェンス練習を見ていると、揃って前に出れていた印象を受けました)

3年生は、最後の県大会です。みんなで優勝目指して頑張りましょう！

コーチの皆様、夏合宿もお世話になりました。

この後も県大会等、最後までよろしくお願い申し上げます。

夏合宿

森 天 父(敦)

選手の皆様、夏合宿お疲れさまでした。

そして、コーチ、OB、そして合宿期間中サポート頂きました保護者の皆様も暑い中、ご尽力ありがとうございました。(小沼さん、白井さんにも本当にお世話になりました。感謝です)

3年生最後の合宿で、天はかなり気合入っていたように思いますが、終わってみて、ちょっと物足りなかったようです。

去年のような、きつい練習で A チームのレベルアップを望んでいたのですが、目指すところまでは至らなかったな・・・、とぼやいていました。

私が考えるに、これは、天のコミュニケーション不足から生まれた目標設定のギャップもあるかと思えます。

チームを率いる3年生が合宿での目指すゴールを明示できず、チームメンバーと共有できなかったのが要因です。

何を指すのか、何を得たいのか？どうしたいのか？が、人任せだと、いつまでたっても人に頼ったまま・・・。

秋の大会までは、時間がさほどありませんが、それでも目標を共有し一歩でも近づけるよう、チーム全員で頑張ってもらいたいです。

週末の練習だけではなく、稲城 G や健志台 G 以外でもできることはきっとあるはず。

悔いの残らないよう、できることをやり切って、納得できる成果を手にして欲しいと思います。

(天に、直接言うべき内容でした・・・w)

あ、あと2年生、1年生の保護者の方へ

合宿のサポートは、天候も変わりやすく、朝の設営と補給準備等で、練習開始前と後がバタバタして大変です。ぜひ、来年も協力しあって、対応頂ければと思います。



6年生最後の夏合宿

6年チーフ 小山田 俊広

今年は梅雨も早々に明け天候に恵まれた合宿でした。皆さん、小学生最後の夏合宿はどうでしたか？
けがで合宿に参加はしていても、別メニューで練習をして試合では応援で頑張った人、直前に急病で参加できなかった人。今年はいろんなパターンがありました。

参加したみんなには合宿前に「自己分析のアンケート」と「自己分析シート」を記入して自分が何をするために合宿に参加するのかを明確に意識をして参加してもらいました。目標が達成できた人、もう少しだった人いろいろいたと思います。でも、できるようになったことも大事ですが、そのために何をしてきたのかがもっと大事です。これからも絶えず挑戦を続けることになります。自分が何をしたいのか、何をしようとしているのかを考えましょう。そのためには何をすればいいのかを考えましょう。

菅平ジャンボリーでは昨年の悔しい思いを今年は快勝で締めくくれました。(前日の練習内容がよく反映されたいいゲームでした。ご褒美の山光館グランドまで3年連続で走ることも出来ましたね。)

君たちとは2年生から参加している子もいるので5回目の菅平でした。毎年ここでわずか3日間ですが朝から夜までラグビーを練習することでそれぞれが成長しています。今まではその成果を1年を通じて見てこれましたが、これからは来年の3月までしか感じられません。でも、その8か月間で君たちは大きく成長した姿を見せてくれるでしょう。それだけの練習が出来て君たちの力となってくれたと思います。それをぜひ我々コーチ陣はもとよりご両親やスクールの人みんなに見せてください。力を出し切って頑張らしましょう。これからも。

3つの Good

6年技術指導コーチ 杉浦 輝明

みんなが初日に着ていたTシャツに「努力に限界無し！」とありました！

一つ一つの練習や試合で全力を出すことができましたか？

常にベストを尽くそうとする気持ちを忘れることなく、これからも試合や練習に臨みましょう。

今年は山田コーチと虹翔コーチが「考えるミーティング」を準備してくれました。

プレーだけではなく心構え(ラグビー憲章)についても自分で考える時間になりましたね。

麻生ラグビースクールの最上級生としてぜひ大事にしてください。

そのミーティングの最後にコーチからみんなに「3つの Good」ということを伝えました。

覚えていますか？

コーチがプレーするうえで大切にしてきたことです。

Good Positioning → Good Communication → Good Support

・Good Positioning

自分がプレーできるポジションを取る(すぐに起きる、すぐに戻る)、その上でどこにポジションを取ることがチームにとって有効なのかを判断する、そしてそこに早く立つ！キツイ時こそサボらずに立つ、勇気をもってそこに立つ、常にプレーに参加できる状態であることが大事！

・Good Communication

自分が考えていることや次に行うプレーを仲間に伝える、仲間の考えていることを聞いて自分には何ができるのか判断する、チームにとって有効なプレーは何かあるのか仲間と考えるために会話する、疲れている時こそ会話して自分や仲間を奮い立たせる、など

・Good Support

どのプレーを行うのか決まったらボールを継続させ仲間をサポート(オーバーする、ボールをもらうなど)する、前進させるために全力でプレーする、レフリーの笛が鳴るまでプレーを続ける、ディフェンスではギャップ(でこぼこ、大きな隙間)を作らないようにスペースを埋める、など

体を動かすだけではないですね。

プレー中は常に考えて、頭も動かしつつける楽しみや難しさがラグビーにはたくさんあります。

楽しい時チャンスの時だけでなく、苦しい時、ピンチの時こそ3つの Good を思い出そう！

2018 年菅平合宿

6年コーチ 教村政司

1955 年生まれの3人で日曜日の早朝からの合宿参加。
私は、5年振りの合宿。
本当に久し振りの菅平でのラグビー。久し振りに見る子供達。
体も精神的にも成長しラグビーレベル全て成長してる。
小学生最後の年！県大会迄の時間は、限られている。
合宿での成果を出し切り結果を残して下さい。
ラグビー最高。

夏合宿

6年キャプテン 土屋 裕資

合宿では「グッドコミュニケーション」を意識して頑張りました。
特に、声を出してパスを回し、トライにつなげることを常に意識して取り組みました。
リコーカップで橈骨を骨折してから2ヶ月以上、試合に出られず、外から応援することしかできなかったけど、今回復活できたことがとてもうれしいです。
試合では声を出してパスを回すことができ、また、ミスした後も声を出して「その後のプレー(とりかえそう!）」とはげますことができました。
県大会では、グッドコミュニケーション、サポート、ポジションを心がけて、最後まであきらめず、勝っていきたいと思います。

夏合宿の思い出

6年バيسキャプテン 荒木 鷲摩

僕は左手親指を剥離骨折してしまい、みんなが苦しい顔をして練習しているのを、杉浦コーチのキツイ体幹トレーニングやキックの練習をしながら見ているだけでした。
自分の目標であった、「キックの成功率を 100%にする」というのは、達成出来たと思います。もう余程の事がないと、キックは外さない自信があります。
もう一つの目標は、「走れなくなるまで走る」。これは達成ならずでした。理由は、途中からキックのし過ぎで足が痛くなったからです。
あと、僕が夏合宿で学んだことは、応援の大切さです。
みんなが苦しい顔で走っている時に、背中を叩いて声をかけてあげる、試合で負けている時に自分が気づいた事があればグラウンドにいるみんなに聞こえるような声でアドバイスを、などの声かけを積極的にしました。
最終日の5年生との紅白戦には、どうしても試合に出たいのに骨折で出られず、悔しくて悔しくてお母さんに八つ当たりをしてグラウンドで頭をぶたれ怒られたりもしました。ちょっと恥ずかしい思い出です。
今年が最後の夏合宿だなんて、寂しいです。でも参加出来て良かったです。

夏合宿を終えて

6年 増田 悠真

最後の夏合宿では班長をまかされました。自分の班をまとめるのが思っていたより大変だったけど、まあまあできたと思います。
合宿の目標にしていた、「走りこんでボールをもらう」については、少しずつできるようになりました。これからも、練習を続けてチームの力になりたいです。

夏合宿をおえて

6年 中村 和樹

最後の夏合宿を終えて、合宿を通してできたことは2つあります。

1つ目は、ジャッカルができたことです。素早く相手からボールを奪って味方に回すことができました。2つ目は、トップスピードでボールをもらうことができたことです。ジャンボリーの試合で、トップスピードでボールをチームメイトからパスしてもらいトライを奪うことができました。

今後は、大きな大会でもさらに力を出せるようにしっかり練習を積みたいと思います。

最後に、6班の班長をつとめ「班長半端ないで賞」をもらいました。3年生、4年生が多い班だったので、早め早めの行動にこころがけ、食事中も気を配っていました。最後の合宿で良い思い出になりました。

最後の夏合宿を終えて

6年 日笠 温斗

ぼくは、小学校生活最後の夏合宿なので、今までで一番気合を入れてがんばりました。

合宿の前まではあまりタックルにいけなかったし、いったとしてもたおせないことが多かったけど、合宿の間に今までよりいけるようになったし、強くできるようになったと思います。

県大会やファイナルカップ、ヒーローズカップまでに、相手をたおせるくらいもっと強くタックルをいけるようにしたいし、トライも決められるようにしたいです。そして、全部優勝したいです。

最後の夏合宿で

6年 牛山 颯士

今年の夏合宿で出来るようになったことは、スタミナの強化と、低く当たるようにすることです。

完全に低く当たれるようになったわけではありませんが、この成長をキープし、もっと低く当たれるようにしたいです。

あと、最高学年として、班長ではなかったけれど、しっかりと下の学年の子を支えられたと思います。

夏合宿

6年 鈴木 孝太

夏合宿で一番印象に残ったことは、最終日の5年生との試合です。チームのみんなが、僕にトライを取らせてくれようとして、みんなが声をかけてくれて、パスを出してくれて、トライのチャンスを作ってくれたことです。トライ出来なかったけど、とても嬉しかったです。今度は、僕がチームのために頑張りたいです。

夏合宿を振り返って

6年 近藤 柚子葉

私は、5月末に、左肘を骨折し手術しました。

夏合宿に参加できませんでした。今、リハビリ中です。

早く、グラウンドで、仲間の皆さんとラグビーができるようになりたいです。

夏合宿

6年 佐藤 巧

今年はケガで練習に参加できなかった事が残念でした。

この悔しさをバネに治ったら練習がんばりたいです。

夏合宿の思い出

6年 倉谷 夏生

この最後の夏合宿の思い出は、とても成長したという思い出が、とても多いです。

なぜかという、夏合宿でちょっとボールを持って思いっきり行くというのができるようになって、声やサポートなどができるようになったからです。

最後の菅平合宿

6年 尾崎 丈太郎

麻生ラグビースクール6年として最後の合宿を迎えました。一生懸命頑張って、思い出に残る良い夏合宿にしたいなと思っていました。合宿を通してやりたかったことは、「タックルで確実に相手を止めること」「パスをもっともっと早く出すこと」です。

1日目がスタートして、多少の緊張もあったけど、休憩時間以外にはテントに戻ることはしなくなかったので、どんなにしんどくてもやりきろうと心掛けました。朝ごはんの時に出してくれる、菅平で採れた新鮮なキュウリやトマトは本当においしかったです。

2日目は、ジャンボリーということもあり朝から気合を入れて1つ1つの練習の意図を考えながら動いて試合に臨むようにしました。実際の試合では、思うようにできたプレイよりも思うようにいかなかったプレイが多くて、満足のいく出来ではなかったけれど、最後のジャンボリーで2戦とも勝てたので、それはそれで嬉しかったです。2勝はしたものの、コーチたちの案により山光館まで走って帰らせていただきました。毎年恒例のBBQと花火大会は、途中胸やけを起こしながらも最後まで楽しませて頂きました。

3日目は合宿最終日だったので、すべてを出し切るつもりで精いっぱいやりました。5年生との試合は1学年下の相手に引き分けてしまったものもあり、不甲斐なく思いました。本来なら圧倒しなければいけない相手なので、今度戦う時には身を締め締めて臨みたいです。

合宿最後に菅平賞の発表がありました。まさか自分が選んでもらえるとは思っていませんでしたが、最後の合宿で菅平賞をもらえたことはとても嬉しかったです。

県大会・ヒーロースカップ・ファイナルカップと大切な試合がたくさんあるので、そんな大会で上位を目指してこれからも頑張っていきたいです。

夏合宿

6年 坂脇 優心

今年の夏合宿の目標は人任せにせずにタックルに行くことでした。

タックルが決まるか決まらないかということよりも行こうとすることをしようと思い自分からいくことが目標のゴールだと自分では決めていました。

ですが、大きい選手から逃げることもありましたが、最後の夏合宿は自分では満足の結果ではなかったけれど県大会やファイナルカップまでには自分からタックルにいったり止めるということができるようにしたいです。

夏合宿の思い出

6年 倉谷 夏生 (父)賢司

「42歳、限界に挑戦」をスローガンに子供達に負けないためにも、ほぼ、6年生と同じ練習メニューをこなしました。その大きな目的は、夏生と小学校最後の合宿を一緒に練習する事でした。最後まで、一緒に練習させて頂き、親として本当に良い思い出ができました。ありがとうございました。

また、6年生全員が、昨年とは見違えるほどの「判断」「技術」「体力」の向上に、改めてびっくりしました。楽しい時は笑い・悔しい時は泣き・苦しい時は本当に苦しい顔をする6年生、とんでもなく良いメンバーで、本当にこれからは楽しみなメンバーです。

小学校最後の6年生を、大いに楽しみながら、これからもラグビーにも熱中してください。

最後の夏合宿

6年 中村 和樹 (母)明子

今年が最後の夏合宿だ！と意気込んで、チームのママさんたちと共に、夫婦で3泊4日の菅平へ参加しました。

保育園、そして低学年の頃から見守ってきた子どもたちが、合宿を通して、たくましく、頼もしく成長した姿には、感慨深いものがありました。同時に、コーチのみなさま方には感謝の気持ちでいっぱいです。

また、早起きが苦手な家で時間管理が全くできない息子が、合宿では班長賞なるものをいただき、外では案外しっかりやれているのね、と嬉しく思いました。ありがとうございました。

このチームでの活動も、残すところあと半年余り。悔いのないように、一時一時を一生懸命に過ごしてほしいと思います。

そして子どもたちが今後もさらに輝けることを、願ってやみません。

息子の成長を感じる合宿でした

6年 尾崎 丈太郎 (母)望美

早いもので息子にとっての最後の夏合宿が終わりました。一時はスクールをやめようと思っていた子が、彼なりの強い気持ちで頑張る姿に、今年は大きな成長を感じることができました。菅平賞の副賞で頂いたキャップは、きっと彼の一生の宝物になることと思います。

お忙しい中いつも熱心にご指導くださるコーチの皆様、合宿の諸準備に尽力くださった保護者の皆様、息子が大切に思っているチームの仲間たちに感謝でいっぱいです。本当にありがとうございました。これから始まる最後の大会に向け、精一杯過ごしていってくれることを期待しています。



ジャンボリー柏戦キックオフ



ジャンボリー柏戦 CTB の突進



俺に任せろ！



ゴールを目指す



トライ!



スクラムからボール出た！



ナイスタックル！



前へ！



捕まえた！



よしトライだ！



ラインアウト



集合写真



集合写真(応援していただいた家族と共に)



「今年の夏合宿」

5年チーフコーチ 角田浩史

5年生のみんな今年の夏合宿はどうでしたか？

自分で立てた目標は達成できたかな？

思い通りの夏合宿を過ごせた子もいれば、そうでなかった子もいるでしょう。

でもコーチは、全員が菅平賞に値する頑張りを見せてくれたと思っています。

その中からたった一人だけ菅平賞を選ばなければならないので、コーチたちは夜中まで悩みました。

その結果、今年の菅平賞は『はやと』でした。

2年振りのFWからの選出です(選出理由は別途、夏合宿担当としての私の総括が掲載されていますのでそちらをご覧ください)。

また、菅平賞とは別に、夏合宿前と夏合宿後を比べて最も成長度合の高かった『とみけん』を、5年生コーチ賞として帰りのバスの中で表彰しました。

来年は小学生最後の夏合宿です。

全生徒が行きのバスから帰りバスまでフル参加してくれることを期待しています。

最後になりましたが、事前準備からご協力いただいた夏合宿担当のご父母の皆さまをはじめ、お手伝いいただいた皆さま、おかげさまで今年も素晴らしい夏合宿となりました。

誠にありがとうございました。

強豪スクール生との違い

5年サブチーフコーチ 山本 慎一

今回の合宿では一段意識を上げて、練習に取り組みましたか

合宿前の自分と合宿後の自分が戦ったら、合宿後の自分の方が勝てますか

自信を持って合宿後の方が強いって言いれますか

強豪スクール生との違いはこの意識の差だと思っています。

これからも意識を上げて練習に取り組み、秋にはみんなで大きな成果を上げましょう！

「2018年の夏合宿を終えて」

5年技術指導担当 米元 勇一郎

今年の菅平はいつもより暑かったけど、みんな最後まで休まずに頑張ったね！

キツかったかもしれないけど、楽しかったという思いを少しでも持ってくれていたらコーチは嬉しいです。初めてやる練習も多く、最初は戸惑ったかもしれないけど、慣れてくると自分が何をしなければいけないか、どんな声を出したら良いかを段々と考えながら練習してくれていたと思います。サイドタックルやボールを貰うときに広く立つということを、試合でもすぐに実践してくれたことはとても嬉しかったです。

みんなが合宿の最初に発表した目標は達成できたかな？

達成できたことは自信を持って良いし、できなかったことはこれからの練習で達成できるようにしていこう。

そのためには、自分で考えることがとても大事です。コーチに言われたことをやることも大事だけど、更に自分で考えると上達するし楽しくなるのではないかな。

もうひとつは、質問すること。分からないことは分からないままにしておかないことが大事。どうやったらできるようになるかを考えてもわからない時はコーチにヒントを貰いにきてね！

これからも楽しくラグビーできるように一緒に考えながら頑張ろう！！

「今年の夏合宿」

奥田 侃

今年の夏合宿の目標は『全体のコミュニケーションと近くの細かいコミュニケーションを工夫して上達させる』でした。

全体のコミュニケーションは大きな声でしゃべることを意識して、近いコミュニケーションはより細かくしゃべることを意識しました。全体のコミュニケーションはできたけど、近くとの細かいコミュニケーションはプレーに集中して聞こえなかったから、近くでも大きい声を出したほうが良いとわかりました。

「今年の夏合宿」

小本 悠之郎

今回の合宿は、初めてなのに副班長になって、いろいろ大変なこともあったけど、たくさん仲間が支えたりしてくれたので、高学年でも楽しくいられました。

いつもよりもたくさんキツイ練習をしましたが、楽しく出来たので、2回目の来年が楽しみです。

「今年の夏合宿」

菅田 葵

私は、この夏合宿で「パスの技術」が上がったように思いました。以前のパスだと、少し回転がかかることがあったけど、米元コーチからアドバイスをもらったので、強く真つすぐ投げることができたと思います。だから、試合でもいかしていいパスをしたいです。

「今年の夏合宿」

毛利 蒼矢

ぼくは5年生になって、ハーフでてん開をよんでパスを仲間につないでいくのがとても楽しくなりました。合宿でできたことは相手の目を見てパスができたことです。それは高崎と試合した時、前半負けていたけど、後半は勝つことだけを考えて仲間の目をみてパスをつなげることができたからです。できなかったことは、ラックの横でピラーができませんでした。正確なパスを出すときはスクリューパーができませんでした。あと、やっぱりタックルがうまくできませんでした。キックオフのボールを積極的に取りに行かなかったことが、くやしかったです。合宿でうれしかったことは6年生の試合に出れたことです。6年生の試合はてん開が早くておどろきました。僕が6年になった時に早くててん開ができるハーフになりたいと思いました。県大会の目標は積極的にボールを取りこき、仲間がとりやすいスクリューパーを投げることです。

「今年の夏合宿」

萬場 愛実

私の夏合宿での目標は、練習どおりのタックルを試合で決める事でした。目標は達成できなかったけど、練習のABの試合で、自分より体の大きい相手にタックルを決めることができました。来年の夏合宿までには、練習どおりのタックルを試合でも決められるようにします。

「今年の夏合宿」

笹崎 善太郎

3回目の合宿だったので、今まで以上に楽しい経験ができました。ラグビーのことだけではなく、色々なことを学べた4日間でした。

「今年の夏合宿」

西岡 綜介

合宿目標の低いタックルは出来るようになりました、でも強さと速さが足りないと思うのでもっと練習して最高のタックルが出来るようになりたいです。もっと練習して本気の6年に勝ちたいです！

「今年の夏合宿」

黒須 樟

合宿でタックルが少しできるようになったので、これから練習をしてタックルがしっかりできるようになりたい。そして県大会に向けてタックルやパスを完璧にして県大会で活躍したいです。

「2018年 菅平合宿」

君村 界

今年の菅平合宿では、3日目の高崎との試合でけがをしてしまいました。とても低いタックルがすねに何度も当たってすごく痛かったです。でも楽しかったので試合を続けました。もちろん全力で走りました。試合が終わった後も痛かったのですが、楽しかったので練習もしました。練習の途中でぜんそくの発作がでて、車で送ってもらって山光館に帰り、ソックスを脱いだらすごく腫れていて、最終日の練習には参加できませんでした。練習に参加できなくてくやしかったです。今年の目標だった低いタックルはできたと思います。6年生との試合を見学していたら、すぐにラインを作れていなくて抜かれてしまっていたのでラインの大切さがわかりました。けがをした時にいろいろな人が助けてくれました。本当にありがとうございました。来年の合宿は怪我をしないようにして菅平賞をとれるようにがんばります。

「今年の夏合宿」

小中 柁人

僕の夏合宿の今年の目標は、「低いタックルをする」でした。少しずつできるようになりました。合宿中の試合でも沢山のタックルとフォローができたので目標を達していると思います。これからも、怖がらずもっと積極的に タックルやフォローに入れるように 県大会に向けて頑張っていきたいです。

「今年の夏合宿」

杉浦 圭祐

きつい練習もあったけれど、楽しくラグビーができた。ウイングからみんなに向けて声を出すことを教えてもらい、それを意識して試合や練習をした。その仕事を少しできてチームにちょっと貢献できたと思うので、これからも続けていきたい。

「今年の夏合宿」

金田 剛和

僕はサイドタックルの練習の時に、低くタックルが出来たと思いました。今後の県大会までに確実にタックルを決められるようにしたいです。

「今年の夏合宿」

金田 晃和

僕は今年の夏合宿では、50メートルを測った時自己ベストの8.2秒が取れました。これからは、タックルを確実に決めるの頑張るけど足の速さを生かしたプレーをしたいです。

「今年の夏合宿」

星野 賢吾

今年の夏合宿でできたことは、低いタックルができたことです。できなかったことは、菅平賞がとれなかったことです。うれしかったことは、久しぶりにトライが取れたことです。また、県大会頑張りたいです。

「今年の夏合宿」

佐上 海人

今年の菅平合宿でできたことは、サイドタックルです。練習の時にたくさん練習したので、試合の時にサイドタックルができたので、うれしかったです。

できなかったことは、低いタックルです。試合の時は、おなかくらいの高さしかタックルができていないので、もっとひざくらいまでタックルができるように自分でたくさん練習して、6年生になる時には、ひざまでタックルができるようにがんばります。

ぼくは、今年の合宿で副はん長になりました。最初は知らない人がいたけど、じょじょに話せるようになって最終日にはみんなと話せるようになりました。

来年は最後の合宿なので、はん長になってみんなをまとめたいです。

「今年の夏合宿」

浜田 琉生

今年の夏合宿の目標は、パスが苦手だから上手にできる様に練習するとしました。合宿前よりは上達したかなと思います。だけど、低いタックルと自分が思う様なプレイが上手く出来なかったので、もっと練習して出来る様に頑張ります。

辛い練習を頑張れた事がうれしかったです。

「今年の夏合宿」

福岡 遼

自分で立てた目標で出来たことは高崎戦や少しだけど6年生との試合で低いタックルが出来たことです。

出来なかったことは6年生に勝つ事です。

合宿中嬉しかった事は普段やっていない練習が出来た事でしたが最後の日はお腹を壊してしまい練習出来なかった事は残念でした。

合宿中みんなでサニアでの試合の良かった所悪かった所を映像で観て次の日にその良くなかった点を練習で直せたところはとても良かったと思いました。

「課題克服」

千秋 勇都

夏合宿の課題は低いタックルを決める、にしました。身体が小さいので相手の上半身にタックルしても倒しきる事が出来ないからです。

天然芝だと膝が痛くないので思い切り出来ました。練習でも試合でも出来た気がします。

「今年の夏合宿」

宮本 大地

僕の今回の夏合宿の目標は「声を出す」でした。目標は達成できました。

しかし、高崎戦ではノックオンを3回してしまったため県大会に向けてハンドリングを改善していきたいと思いました。

そして、キャプテンになったのでみんなのことをプレーと声で引っ張っていきたいと思います。

「今年の夏合宿」

島田 恭助

できるようになったことは去年より仲間にパスができるようになった。これからの課題はもう少し、低いタックルができるようになることです。印象に残ったことは、高崎RSとの試合で逆転勝ちしたことです。気持ちを切り替えて諦めずに試合をすれば勝てると思いました。

今年の夏合宿

河合 遼真

・夏合宿での目標

前までぜんぜんできなかった低いタックルを夏合宿の練習でできるようになりたい。

・夏合宿でできたこと、できなかったこと

できたことは、いっぱい声を出せたことです。できなかったことは、低いタックルができなかったことです。

・夏合宿の感想

ぼくは目標の「低いタックル」をできなかったけれど、次の目標の「声をいっぱい出す」ということができたのでよかったです。来年は目標と次の目標どっちもたっせいできるようにがんばりたいです。

「合宿で学んだ事」

富田 健悟

ぼくは、菅平の合宿で学んだ事は、コミュニケーションです。

コミュニケーションは試合でも練習でも欠かせないことが分かりました。

ぼくは合宿後、コミュニケーションについて考えました。コミュニケーションはただ大きい声で言うのではなく、はっきりと話す相手に分かりやすく意見を交わしていくのが大事ななと思いました。

他に学んだ事はパスです。

合宿前は全然パスが真っすぐいきませんでした。

でも合宿に入ってから、パスが真っすぐいくためにはどうしたらいいか分かってきたと思います。

しかし、まだ走りながらのパスは不安定なので、これからは走りながらパスができるように努力したいです。

ぼくはコーチ賞に選ばれ一番成長していたとコーチは言っていました、まだ成長できると思います。これからはりきって練習に取り組みたいです。

「入校にあたっての抱負」

増田 美沙

<目標>

ルールを覚えて一つでも出来ることを増やしていきたい。

<体験をしてみたの感想>

チームについて

・チームメイトがいつもの雰囲気を楽しそうにプレイしていたので、自分もこんなふうにはやっていいんだなあ、と思えた。緊張したけれど楽しかった。

・みんながやさしかった。

・チームの雰囲気がとても良かった。

・コーチがやさしかった。安心して聞くことが出来そう。怖くないので固まらなくていい。

・いつも声があつてよかった。いろんな声があつてよかった。

・男女の差がなく仲間としてあつたてくれてうれしかった。

・みんながみんなであまくなろうという気持ちがあるような気がしたので、自分もうまくなれるような気がしたし、このチームに入りたいな、と思えた。バスケットはまたちがうチームワークを感じる事が出来た。チームがすごく素敵だった。

<やってみたの感想>

・なかなかやろうとしている事が出来なくて、目で見て、頭でわかっているつもりでも、いざ体を動かすと思いつ通りに動かすことができなかった。

・ハンドリングはバスケットと似ているからできたけれど、うまくできたと思えることがなかった。

※ 増田美沙さんは入校から日が浅く合宿も不参加のため抱負を寄稿してもらいました。



充実の夏合宿

4年チーフコーチ 山崎 裕二

まず初めに、私が直前になって合宿に参加できなくなり、ご父母の皆様、コーチの皆様にも多大な迷惑とご負担をお掛けしましたことをお詫びいたします。

さて、合宿に行けないながら、アップされる動画等を見させて頂きますと、子供たちは個々に目標を掲げ、それを達成して帰ってきてくれたのではないかと思います。

普段の練習ではできないことを菅平で経験して、逞しくなっていると期待しています。

この経験を忘れないようにして、練習・試合でどんどん出していきましょう。そうすれば必ず結果がついてきます。

みんなで協力してアタック・ディフェンス、がんばろう！

夏合宿を終えて

4年コーチ 武井 智之

4年生のみんな、夏合宿は精一杯頑張れたかな。できなかったプレーができるようになったかな。コーチもみんなと一緒に頑張って、大きな声を出しました。

合宿でできるようになったプレーを県大会に向け、さらに磨きをかけていきましょう。

そして、みんなの力を合わせて県大会での勝利をもぎとりましょう。

4年コーチ 原田 惇平

麻生ラグビーに入校してから、初めての合宿でした。かなりキツイ練習メニューのはずでしたが、子供達が楽しそうにこなす姿が印象的でした。もっと強いチームを目指して、私も頑張ります。

夏合宿の思い出

4年 永井龍介

ぼくの夏合宿の目ひょうは、「意味のある声をしっかり出す」でした。暑かったけど、しじの声、ボールをよぶ声、なかまをもちあげる声など出せたので良かったです。

楽しかったすが平合しゆく

4年 村松 颯太

ラグビー合しゆくの感想は、すごくあつかったけど楽しくできてよかったです。し合でパスや、オーバーがもっとうまくつなげられたらなと思いました。

すが平しょうはとれなかったけど、チームしょうがとれてよかったです。来年はすが平しょうをとりたいです。

がんばった夏合宿

4年 谷澤 慶

合宿の練習はとてもつらかったけれど、乗り越えられたおかげで、強くなったところもあるし、仲間との仲も深まったと思います。

班ではほかの学年と仲良く出来て、友達もふえたし、とても楽しく出来てよかったです。

試合では、負けてしまったけれど、自分のなかでは、ベストをつくせたのでよかったですと思います。これから始まる県大会に向けて、今回合宿で練習したことを活かして県大会でベストをつくしたいです！！

菅平合宿

4年 大野 伸一朗

合宿では、タックルの練習で追いつけなかったのが、これから頑張っていきたいです。



はじめての合宿

4年 斉藤 蒼一郎

ぼくの目標は、タックルのしせいを低くするという目標でした。

合宿のはじめのほうは、タックルを手だけでいって、相手をたおせなかったけど、その後の練習で体でいけるようになりました。だけど、し合では、また、手だけでタックルにいてしまいました。なので今度からはきをつけたいです。

練習いがいで一番楽しかったのは、部屋でまくらなげをしたことです。みんなではしゃいですがすごく楽しかったです。

うれしかったことは、きゅうりが食べられるようになったことです。合宿の後からきゅうりが大好きになりました。

なので来年の合宿が楽しみです。

夏合宿でできたことと県大会の目ひょう

4年 森 琉

合宿前に立てた目ひょうは、できたこととできなかったことがありました。

- ①練習前と終わりに、必ずあいさつをする。
- ②自分のポジションに、すばやくつく（ポイントに入る）
- ③味方にわかるように声をかける（コーチング）

①と③は、毎回できていたし、これからも続けていきます。

②が出来なかったのは、タイミングがうまくとれなかったからです。

タイミングをうまくとって必ず自分のポジションに入れるようにがんばります。

県大会は、みんなで勝ちたいです。

みんなでがんばろう！

夏合宿の感想

4年 山本 空

合宿で「体であたるタックル」ができました。

これからの練習や試合でもできるよう、がんばりたいです。



夏合宿の思い出

4年 吉田 悠真

今年はすがだらしょうを取れてうれしかったです。

県大会があるので合宿でれんしゅうしたことをしあいを出して、タックルを低くしてゆうしょうしたいです。

目標を達成した夏合宿

4年 児玉 健吾

僕は夏合宿の練習でコート全体が見えるようになりました。なので試合の時にトライが取れました。嬉しかったです。他にもパスをしてみんなでトライを取ったりタックルを決めたり目標が全部達成出来ました。これからも頑張りたいです。

4年生の菅平夏合宿

4年 古川 敦也

今年の合宿は、2回目だったので、不安もなく参加することが出来ました。

合宿での目標は、「低いタックルをすること」でした。

合宿の練習で、低いタックルをする事が出来ましたので、そのタックルを県大会で生かしていきたいです。

コーチの皆様、ご指導ありがとうございました。

夏合宿の思い出

4年 龍 瑛之助

この合宿を通して強くなったことは、タックルとステップです。これから強化したいことは、フオーローとオーバーです。県大会の時にこれらの事を目標にして頑張りたいと思います。

夏合宿の思い出

4年 伊藤 優多朗

コーチの皆さまありがとうございました。
今年の合宿はみんなと協力して出来たので嬉しかったです。
これからの練習や試合でもタックルの姿勢を低くして合宿の練習を活かして行きたいです。

夏合宿の思い出

4年 藤川 悠生

初めて合宿に行って不安だったけど、みんなとご飯を食べたり、いつのまにかたのしくなっていました。野菜はすきなので、キュウリとトマトもおいしかったし、楽にクリア出来ました。でも、タックルは出来ませんでした。いっぱい食べて次の合宿にはタックル出来るようになりたいです。



2回目の菅平合宿に参加して

4年 村松 颯太 (父) 朋彦

今回、昨年に引き続き菅平での夏合宿に3日間参加させていただき、大変有意義な時間を送らせていただいた。いつもの練習よりもコーチ陣の厳しくも熱い掛け声に子供達の逞しく、少し緊張した顔つきが合宿では見られ、その中で仲間を思う気持ちが日を重ねるごとに増していくのを感じ、本当に来てよかったと思うと同時に我が子の精神面での成長にラグビーを習わせて良かったと思う瞬間であった。来年も是非参加したいと思う。

菅平合宿 2018 を終えて

4年 森 琉 (父) 敦

コーチのみなさま、合宿でサポート頂きました保護者の皆様、今年もお世話になりました。ありがとうございます。(特に、夏川コーチ・村山コーチには感謝です)

早いもので、これを書いている時分は、合宿からほぼ一月になりますが、選手の皆さんは学んだこと、教わったことを覚えていますでしょうか？

練習を見ていた中で、私が一番驚き、興奮を覚えたのは、原田コーチがチームの攻撃スタイルを選手

たちに話しているときでした。

それは、FW と BK で交互に攻めあがる戦術の確立を目指していたためです。

内容的にも体力的にもとても難しい戦術だと思いますが、これが出来るようになると、きっと強いチームになり、選手たちも強い自信を持てるようになると思います。

チーム全員で、観ている人たちが感動するプレーを目指して下さい。

(頑張してほしいことの例)

- ①ラグビーの基本的なルールを理解する
- ②試合中の状況判断を素早く行う
- ③ハンドリングを上手に行う
- ④素早く動ける身体を作る

※合宿中の練習動画がサークルスクエアにありますので、見直してみてください。



夏合宿

4年 吉田 悠真 (父)

合宿お疲れ様でした。

コーチの皆様、5年生の合宿担当のご父兄の皆様、4年生のご父兄の皆様本当にありがとうございます。おかげさまで充実した合宿になりました。

まさかの菅平賞でびっくりしましたが、本人はもっとびっくりしておりました。

本人の更なる成長の糧になればと思っております。

県大会みんなで力を合わせて頑張ってくださいと思います。

菅平 2018

4年父 児玉 健吾 (父) 英治

今年の夏合宿では勝吾君の送別ビデオ製作のため山光館にもお邪魔して子供達の共同生活ものぞかせて頂き大変楽しかったです。これからもチームメイト達を大切に逞しく育てて欲しいと思います。

菅平 2018

4年母 児玉 健吾 (母) 暁子

二日間参加させていただきました。今年の菅平は思った以上に暑く、練習はハードでしたが、子供たちは皆本当に頑張っていました。コーチの皆様には感謝しかありません。ありがとうございました。



4年生の菅平夏合宿

4年 古川 敦也 (母)

今年の合宿は、土曜、日曜と2日間、見学をさせて頂きました。

4年生達は、昨年とは違った顔つきで、それぞれが自分自身の目標を持ち、参加していました。昨年は合宿初参加、今年は2回目で少し余裕もあったのか、「頑張るぞ!!」という気持ちが表れていた顔つきでした。コーチ達も熱い熱い指導をして下さり、子供達も真剣に練習に取り組んでいました。

今年の夏は、今までにはない猛暑で、菅平も例外ではなく、気温が高く暑い合宿でした。それでも、子供達は、誰一人バテることなく、テントで休むことなく練習に参加していました。それも、「強くなりたい」という気持ちの表れだったと思います。

教わったことを今後の試合でも生かしていけたらと思います。

猛暑の中、子供達が休むことなく練習に参加出来たのも、コーチの皆様、5年生のご父兄合宿係の皆様のお力があってのことだと思います。本当にありがとうございました。

夏合宿

4年 草野 壮大 (父)

タックルがうまくなりたい…という目標をもって臨んだ合宿。帰ってきてから「あまり行けなかった」と反省していたけど、向上心や悔しさを日々の練習に活かして欲しいものです。

コーチやご父母の皆様、大変お世話になりました。



3年生



夏合宿を終えて

3年チーフコーチ 田口 学

夏合宿のテーマは「メンバーが自分の限界を突破する経験をこと」「メンバー一人ひとりが自信を付けられるコーチングをすること」の2点でした、

夏合宿を終えて、「メンバーが自分の限界を突破する経験をこと」については、練習、試合を通してメンバーがそれぞれに一生懸命にラグビーに取り組んだ結果、達成することが出来たと思います。

毎日の最後の練習での走り込み、何度も「キツイ！辞めたい！疲れた！」と思いつつも、仲間も一生懸命に走っている姿を見て、「自分も最後まで走り切ろう！」と頑張れたと思います。

ラグビーは一人ではなく、チームで戦います。一人で出来ないことも、仲間とだったら出来ます。

夏合宿と通じて、ラグビーの持つ力を感じてくれたらと思います。

「メンバー一人ひとりが自信を付けられるコーチングをすること」については、これからの県大会でその結果が出てくると思います。

夏合宿を終えた次の日、「早く菅平に行きたいなあ～」とっていました。

子どもたち、保護者の皆様、各コーチと過ごした3泊4日。私にとっても、大切な時間となりました。

来年は、今よりもメンバーを増やして、4年生30人で合宿に行くぞ～！

今年の夏合宿を終えて

3年コーチ 河合淳一

夏合宿初参加の3年生と一緒に、菅平に行ってきました。日中は30℃を超える事もありますが、雨に降られず全日程を終える事ができました。

3年生の児童達にとっては親元を離れ、普段より長いラグビーの練習時間でしたが、参加した20名全員が最後まで元気に練習参加しました。

サニアパークでのジャンボリー4 試合についても、積極果敢に相手に挑み、4 戦 2 勝と立派な成績もさることながら内容についても良かったと思います。敗れた 2 試合についても対千葉市 RS さんとは今年の 1 月に 0-10 と大敗をした相手に 3-6、常総 JrRS さんとは相手がほぼ 4 年生に対して 4 本トライを取れた事は、彼らのラグビーに対する取り組みが少しずつ形になってきている証拠だと思います。

次のこの子達の大きなイベントは、秋から始まる県大会となります。今年の 3 年生は 2 チームエントリーし試合に臨みます。

我々指導員としては、子供達が試合で自分の力を発揮できるようどのように声かけし、気持ちを持っていけるようにしていかなければと思いますが、子供達にとってはまず日頃の練習への取り組み方や家庭でラグビーにどれだけ接するかも大事な事だと思います。

子供達がこの麻生ラグビースクールに入校したきっかけは様々だと思います。うちもそうですが、親のわがままで入校した子も少なからずいると思います。そんな子達も 3 年生になりそろそろ、「ラグビーをもっと上手になりたい」とか「あの選手のようにカッコ良くトライを決めたい」、となるようにもっとラグビーを好きになってもらいたいと思っています。そのためには周りの環境づくりは大切です。

今年の夏合宿で私が 3 年生に驚いたことがあります。それは、今年の 3 年生は他の学年の子と比べてグラウンドで食べる麻生式朝食、きゅうりやトマトを残さずたくさん食べる子が多いことでした。私はたくさん食べる子が好きです。人間のパワーの源は食べる事です。そんな 3 年生の子供達が仲間と共にラグビーを続けていく事を応援していきたいと思っています。

夏合宿とは…？

3年コーチ 永井 大介

3年生のみなさん、初めての夏合宿はどうでしたか？

永井コーチは、みんなに合宿の初めての練習の前にこんな話をしました。

「秋にみんなにとって初めての県大会が始まります。秋に良いラグビーができるかどうかは、夏合宿の過ごし方にかかっています」。覚えていてくれますか？

夏合宿はコンタクト練習も普段より激しく取り組みました。パスもいっぱい練習しました。そしてなによりもみんなが田口チーフを「鬼！」と思ったかもしれないシャトルランは全員が最後まで必死になって走り抜きました。

みんなはこの夏合宿で大きく成長しました。

あとは県大会までの練習でもう一度合宿でやったことを思いだすとともに、さらに磨きをかけていきましょう。みんなが県大会で ALL OUT できるよう、コーチ陣でサポートしていきます。

頑張っていこう！！

夏合宿を終えて…

3年生 小作 紀昭(おざく のりあき)

菅平ではいろんな練習メニューをやりました。

皆が同じことが同じようにできることよりも、皆が何か一つ得意なプレーができるようになったら、麻生 3 年生は最強だと思っています。

初めての県大会に向けて、『自分ならできる！』と思う【得意技】をあみだして下さい。

失敗なんて何回でも全然 OK です。(チャレンジすることが一番大切な練習です。)

皆が持っているいろんなチカラを探して見つけてほしい。

3 年生コーチは皆の事を応援しています。

3年ぶりの菅平

3年コーチ 田口 幸吉

仕事の関係で3年ぶりとなった菅平合宿は1日半の短い参加でした。通常の練習も参加日数が少なく子供たちの名前もまだちゃんと覚えていませんが今回の合宿では子供たちと話す機会も多く少しは子供の顔が見えてきた様に思います。今年の菅平は例年よりも暑くそんな中で練習をして複数の試合をした子供たちはみんなよく頑張りました。毎年この菅平合宿を経験してその度にひとまわりまたひとまわりと成長していく子供たちは頼もしく輝いて見えます。そんな子供たちと一緒に楽しくラグビーができるようにサポートできればと思います。来年も参加したい！

すが平合しゆく

3年 萩原 奏子

すが平合しゆくでは、練習時間がながかったり、足がいたくなったりしたけど、来年は今年と同じような事をしないで、もう少しがんばってレベルアップしたいです。1こ上の4年生としあいをして、すこしはボールをもったし、タックルして大きい子を止めたりがんばれたからよかったです。来年はもっと楽しいけどつらい事をがまんして、いい夏合しゆくにしたいです。花火大会も楽しかったし、バーベキューも楽しくてよかったです。

次いく時は、もう少し強くなって、今年の4年生をこしたいです。女子だからって弱いわけじゃないから、もっとがんばりたいです。来年のしあいでは、オーバーやタックルをたくさんして、できればトライも1回はしたいです。みんなと仲よくやってみたいです。わすれ物やおとし物はしないようにします。

夏合宿での思い出

3年 高垣 庚平

ぼくは初めての合宿を楽しみにしていました。どんな新しい練習するのかな、いつもと何が違うのかな、とわくわくしました。

行ってみると朝から夜まで練習で、ちょっとだけ苦しかったです。

でも新しい練習だったり、いつもと違う相手と試合が出来て、とても嬉しくて楽しかったです。

いつもタックルがうまく出来なかったけど、コーチから飛行機が離陸するみたいに低く入ってから上に行くと、良いタックルが決まると教えてもらいました。さっそく、試合で使う事が出来て良かったです。

そして菅平のコーチ賞をもらったときは、とてもびっくりしたけど嬉しかったです。

また来年も頑張りたいです。

夏合宿に参加して

3年 佐藤 汰俄

夏合宿に行くのは不安だったけど、行ってみたら楽しかった。6班のお兄さん達が優しく、班長さんが表彰されて嬉しかったです。練習は厳しかったけど一生懸命やりました。ラグビーがもっと上手になりたいです。これからも頑張ります。

3年 飯田 快翔

はじめての合宿で不安だったけど頑張りました。

下級生との試合ではトライすることもでき、嬉しかったです。

県大会で活躍出来るようにガンガン攻めて守れるように頑張ります。

合宿が終わった！！

3年 細谷 心

僕がこの合宿の目標としたことは、「3年生みんなが3泊4日を楽しむこと！」です。中には練習や試合でつらい思いをしたチームメイトもいたけど、最後は笑って終わることができたと思うので、目標は達成しました。僕だけのことで言うと、宇都宮戦の時に自分がしたタックルが、今までより相手の低いところに全部入ることができ、とても自信がつかしました。合宿で気づいたことは、僕は、試合中に全部自分で前に出してしまうことが多いところです。県大会に向けて他のバックスマンバーを頼りながら、ボールを繋いでいけるように練習したいと思います。

合宿をおえて

3年 村山 拓実

ぼくは合宿でパス回しとボールを持った時にダッシュすることをごんぱりました。ディフェンスではしあいで相手のあしが速かったのでタックルするのがむずかしかったし、くやしかったです。あいてがスピードをつける前に止められるように、あいてのボールが出たらすぐに「出た」と言ってみんな一緒にダッシュしようとおもいます。あとバーベキューで肉をたくさん食べました。カルビがおいしかったです。来年もごんぱりたいです。

菅平合宿

3年 久保 陽人

サニアパークでの試合で負けたのが悔しかったし、最後の練習が一番きつかったです。でも来年もまた頑張りたいです。

初めての夏合宿

3年 土屋 太郎

ワクワクドキドキ、楽しみにしていた夏合宿、終わってみると本当に暑くて大変でした。でも、バーベキューでやった鬼ごっこはすごく楽しかったし、肉が苦手な僕からすると、とても一杯食べていた心くんに驚き、楽しい思い出になりました。

ラグビーでは、試合中の声掛けを意識して頑張りました。実際の試合では、自分自身がボールウォッチャーになってしまって、声掛けできなかったときもありました。合宿を通して、ドロップゴールができるようになりました。

来年の合宿までの一年間で、千葉ラグビースクールのオーバーに耐えられるようなチームになれるよう、みんな頑張りたいです。

ちょっと暑かったけど、来年の夏合宿もまあ行きたいかな。

嬉しかった菅平賞

3年 塩川 琥太郎

菅平賞。塩川琥太郎くん。「マジか！」発表されて、「まさか自分が」って、びっくりしたけど、嬉しかった。そのとき、頭が真っ白になって、何か感想を聞かれると思ったけど思い付かなかった。だけど今なら、「賞をもらった時みたいに、毎回の試合でオフェンスとディフェンスをしつかりつつ、怪我のないように、これからも楽しくごんぱりたい！」って、言える。

初めての合宿は、わからないことがたくさんあったけど、同じ班の先輩に聞いたら、教えてもらったから良かった。

練習も、思ってたよりキツかった。一番キツかったのは、最後のダッシュだけど、来年の合宿でも、試合で勝つためにキツイ練習も頑張ります！！

きつかった菅平合宿

3年 中司 丈己

はじめての合宿は、暑くてきつかった。
でも良かったのは、パスをもらう声が出せるようになってきたり、ボールをもらう自信ができてきたこと。
次は、タックルを確実に決めれるようになりたい。

初合宿

3年 可児 遼介

合宿では、練習をたくさんがんばりました。特に最後の走る練習がきつかったです。
今年は菅平しょうを取れなかったので、来年は、もっとがんばりたいと思います。
練習はきつかったけど、花火やバーベキューは楽しかったし、高学年の友達もできたので、来年もまた合宿にさんかして、強くなりたいと思います。

がんばったこと

3年 吉村 悠汰

さいごのダッシュが、きつかったけど走りきった。そのけいけんを試合でいかしたい！！

菅平合宿

3年 鈴木 新之介

暑くて練習が大変だったけど、トライを頑張りました。
苦しかったので、来年行くの嫌だなあ。

あこがれの菅平合宿

3年 萩原 奏子 (母) 信子

兄たちの合宿で何度も訪れてきた菅平、やっと娘の番になりました。嬉しくて楽しみで準備も積極的にや
って、出発の日を迎えました。

行ってみればもちろん楽しいことばかりではなく、きつくいつもより長い練習、暑さとのたたかい、たくさ
んの食事、守らなければいけない時間・・・と大変なこともあったそうですが、充実した4日間を過ごし、ちょ
っぴり成長して帰ってきたように思いました。子供たちそれぞれの成長を生かし、ますます良いチームに
なり、初めての県大会を乗り越えてほしいと思います。

また私は2泊3日で菅平入りし、グラウンドで子供たちの頑張る姿を見つつ、パパママたちとの交流を深め
られた合宿でした。

親子でいい合宿が過ごせましたのも、コーチの皆様、5年生の合宿担当の皆様のおかげです。本当にあ
りがとうございました。

夏合宿

3年 高垣 庚平 (父)

3泊4日親元を離れての合宿が初めてだったので多少の心配はありましたが、真っ黒に日焼けして帰っ
てきた子供の顔を見て、充実した時間を過ごしたのだと感じました。

私は日曜日のみの参加でしたが、いつも以上に熱の入ったコーチの皆様のご指導と、それに応えようと
する子供達のひたむきさに感銘を受けました。

ご指導頂いたコーチの皆様や、付き添いとお手伝いの保護者の皆様のおかげでこのような素晴らしい
時間を過ごさせて頂けたと感じております。本当にありがとうございました。

ワクワク楽しい試合

3年 塩川 琥太郎 (母) 恵美

楽しい！！

ジャンボリーでの子ども達の試合を見て、率直に思いました。

合宿での練習が、自信と気迫となり一人一人からそれらが、にじみ出ている感じがして、いつも以上に観戦していて、ワクワクしました。

子どもは、これだ！と思えた時の吸収力がほんとうに早いのだと思います。

練習でのコーチ陣の的確なご指導があったからなのでしょう。

胸が熱くなる良い試合、観させて頂きました。コーチ方、子ども達、ありがとうございます！

来年もまた、観戦しに行くのを楽しみにしています。

初参加

3年 佐藤 汰俄 (父)

コーチの皆様、帯同して下さったお母さま方にまずは感謝申し上げます。当初、参加を拒んでいた息子ですが、初めての集団生活も楽しめたようです。何よりも普段よりつらくて苦しい練習も最後まであきらめずに取り組む姿勢に、心と体の成長を感じました。(最初に熱中症で離脱すると思っていましたが・・・) ますますラグビーが好きになったようです。何であれ、成し遂げたという気持ちが成長の糧になるので、今後もその気持ち・体験を少しずつ積み上げて、精神の強いラガーに育てて欲しいです。

夏合宿

3年 佐藤 汰俄 (母)

夏合宿があると知ったときは、しばらく参加を嫌がっていましたが、いつの間にか参加を心に決めたようで、出発当日もあっさりバスに乗り込んで行き、びっくりしました。菅平の練習場では、みんな真っ赤な顔をしながら、一生懸命練習に取り組む姿にとても感動しました。この合宿を通して見て、素敵なコーチと素敵な仲間に出会えて、本当に良かったなど改めて感じました。これからもご指導よろしく願いいたします。

菅平合宿に参加して

3年 村山 拓実 (父・1年コーチ) 透

初めてスクールの合宿に参加させていただきました。大学以来の菅平でしたのでときめきました。当時学生が集まる時期で、道行くところむさくしい学生部員であふれている景色に慣れていましたが、今回はスクールが多く集まる時期だったので、また別な顔のかわいい菅平でした。

今回、4年コーチの人数が少なかったため、同学年の練習に加わりました。昨年度までは2年(現3年)を担当していたため、4年生の体の大きさとスピードの違いを感じました。チームプレーや周りを見て判断する力がより重要になることも感じました。また、上手な子、迷いながら動く子等いろいろですが、この合宿を皆で乗り切ったという自信につながってほしいと思います。私はコーチ経験が少ないので、他の学年で指導することは大変勉強になりました。4年コーチの皆様、大変有難うございました。また、至るところで保護者の皆様のサポートを目の当たりにし、合宿が保護者の力で成り立っていることを実感しました。暑く紫外線の強い中、大変有難うございました。

私は日焼け止めを塗るのを忘れていたため、合宿後にしっかりと脱皮できました。中身が成長していれば良いのですが・・・

初めての夏合宿

3年 久保 陽人 (母)

親子共に初めての夏合宿、不安と期待をもちつつの参加でした(父親は約20年ぶりに訪れた菅平に感慨深げではありましたが)。

雄大な自然。グラウンドの芝の濃い香り。

恵まれすぎている環境の中、普段よりも熱を帯びたコーチたちの指導に緊張感漂う練習でしたが、子供達は本当によく頑張っていたと思います。こんなにも成長していたのかとひそかに感動していたくらいです。

改めてコーチの皆様、五年生のお母様方、付き添ってくださったご父母の方々、皆様のおかげで全員が大きな怪我も事故もなく過ごせたことを心から感謝申し上げます。

改めて感謝感謝

3年 土屋 太郎（父）

合宿から帰ってきた息子の顔は、日焼けで真っ黒で、満面の笑みでした。
息子の感想文はインタビュー形式で作成しました。
本人なりの課題認識があり、親としては頼もしい限りでした。
この意識付けもなにもコーチ陣のご尽力による所と感じております。
充実した3日間を過ごせたことに、関係者各位に心から感謝申し上げます。

初めての菅平合宿を経て

3年 吉村 悠汰（父）昌士

5月下旬に麻生ラグビースクールに入校させて頂き、2か月足らずで菅平合宿。初めは知り合っていない仲間と三泊四日上手くやっていけるかなと心配もしました。しかし悠汰の「人見知りしない」性格もあってか「練習キツかったけど楽しかった」と帰ってきたときの言葉にすべてが表れており、親としては子供の成長を嬉しく思いました。

合宿では各日練習の最後に行ったダッシュ、悠汰はキツくって途中諦めかけましたが、仲間の声援もあり自分で決めた限界を超えてくれたこと。親としては試合で頑張る姿以上に感動しましたし、まだまだラグビーで成長できるなど実感させてくれた瞬間でした。

最後にコーチの皆様、合宿をサポートしてくれた5年生保護者の皆様、本当にありがとうございました。菅平合宿を経て、親から見てもメンタルが強くなったなあと実感しております。来年の合宿がいまから楽しみです。

夏合宿

3年 鈴木 新之介（父）

日曜日の交流戦の日に、お邪魔してもらいましたが、子供たちの真剣な姿勢に感激しました。
猛暑のなか頑張る姿は既にラグーマン。
心身の成長が感じられ、菅平合宿に参加できて心底よかったと思っています。
コーチの皆さん、保護者の皆さん、本当にお世話になりました。
ありがとうございました。

試合結果

★東海大相模ラグビークリニック★

日程:6月30日(土)

時間:12:00-17:00

会場:松前記念総合グラウンド

参加:海老名、鎌倉、江東、相模原
多摩、茅ヶ崎、藤沢、R&B、麻生

◆4年生

麻生4年 ● 0-4 ○ 茅ヶ崎1

麻生4年 ● 1-3 ○ 藤沢2

麻生4年 ● 1-2 ○ 江東

◆5年生

麻生 ○ 3-1 ● 海老名

麻生 ○ 6-0 ● 茅ヶ崎2

麻生 ○ 3-1 ● 藤沢3

麻生 ○ 2-1 ● 江東

麻生 ○ 3-2 ● 相模原1

* 5戦全勝で5年生の部優勝。

敢闘賞 金田あきかず

MVP 奥田かん

◆6年生

麻生 ○ 4-0 ● 茅ヶ崎2

麻生 ● 0-2 ○ R&B

* 5年生から4名の応援

★日体大ラグビー祭★

日程:7月1日(日)

時間:8:20-11:00

会場:日体大健志台グラウンド

参加:グリーンクラブ、大和、麻生

◆幼児

麻生大和 ○ 5-2 ● グリーンクラブ

麻生大和 ○ 6-0 ● グリーンクラブ

麻生大和 ○ 5-0 ● グリーンクラブ

麻生大和 ○ 4-0 ● グリーンクラブ

麻生大和 ○ 5-0 ● グリーンクラブ

麻生大和 ○ 4-1 ● グリーンクラブ

* 大和RS1名との合同チーム。

◆1年生

麻生 ○ 3-1 ● グリーンクラブ

麻生 ● 0-6 ○ 大和

麻生 ● 0-2 ○ グリーンクラブ

麻生 ● 3-5 ○ 大和

麻生 ● 1-2 ○ グリーンクラブ

麻生 ● 1-3 ○ グリーンクラブ

◆2年生

麻生1 ● 2-4 ○ グリーンクラブ

麻生2 ○ 3-1 ● 大和

麻生3 ● 1-2 ○ グリーンクラブ

麻生4 ○ 4-1 ● 大和

麻生5 ○ 5-0 ● グリーンクラブ

麻生6 ● 2-4 ○ 大和

* 6試合全てを組み合わせを変えて実施

◆3年生

麻生 ○ 2-1 ● 大和A

麻生 ○ 1-0 ● 大和B

麻生 ● 0-4 ○ 大和A

麻生 ○ 2-0 ● 大和B

麻生 ● 2-3 ○ 大和A

◆4年生

麻生(野田組) ○ 2-1 ● 大和A

麻生(原田組) ○ 1-0 ● 大和B

麻生(野田組) △ 1-1 △ 大和A

麻生(原田組) ○ 3-1 ● 大和B

麻生(トウゴ) ○ 5-0 ● 大和B

* 8月に転校の杉野トウゴ選抜メンバー

◆5年生

麻生A ● 0-1 ○ 大和

麻生B △ 1-1 △ グリーンクラブ

麻生A ○ 4-1 ● 大和

麻生B △ 1-1 △ グリーンクラブ

◆6年生

麻生 ○ 4-1 ● 大和

麻生 ● 2-3 ○ グリーンクラブ

麻生 ○ 2-1 ● グリーンクラブ

* 5年生から2名の応援。

★2018サンウルブズドリーム菅平ミニジャンボリー大会★

日程:7月15日(日)

時間:9:00-16:30

会場:菅平サニアパーク

◆2年生

麻生 △ 8-8 △ 西東京

麻生 ○ 16-1 ● 常総

◆3年生

麻生 ○ 7-1 ● 京都プログレ

麻生 ○ 7-4 ● 宇都宮

麻生 ● 3-6 ○ 千葉市

麻生 ● 4-10 ○ 常総(3,4年混合チーム)

◆4年生

麻生 ● 0-1 ○ 千葉市

麻生 ○ 15-1 ● Kiwi's

麻生 ● 4-6 ○ 京都プログレ

麻生 ● 3-7 ○ 江東

◆5年生

麻生 ○ 4-2 ● 高崎

麻生 ○ 10-0 ● 柏

◆6年生

麻生 ○ 14-2 ● 柏

麻生 ○ 10-3 ● 上尾

麻生リトルガーマン NO. 116

発行日／平成30年8月19日

発行者／杉浦輝明

編集長／野田卓人

表紙題字:元全日本監督 日比野弘氏 ホームページ <http://asaors.com/>